ため池ハザードマップ

－ 国頭伊池・西原上原池・第二坊ヤ田池 －

このマップは、ため池が決壊した場合にどのような被害となるかを知るために、ため池の全ての貯水量が流出する状況を想定しています。（浸水の深さを色で示しています。）表示されている範囲外でも、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

国頭伊池



名　称	国頭伊池
総貯水量	6,270㎥
天端幅	5.00m
堤体高	3.50m
堤頂長	55.00m
型　式	表面遮水壁型

西原上原池



名　称	西原上原池
総貯水量	16,200㎥
天端幅	5.00m
堤体高	6.50m
堤頂長	90.00m
型　式	表面遮水壁型

第二坊ヤ田池



名　称	第二坊ヤ田池
総貯水量	60,000㎥
天端幅	5.00m
堤体高	1.00m
堤頂長	130.00m
型　式	表面遮水壁型

避難所	
施設名	所在地
国頭小学校	国頭2904
国頭字公民館	国頭2969－1
西原字公民館	西原1091－1

避難場所	
国頭小学校	国頭2904
西原運動広場	国頭1071

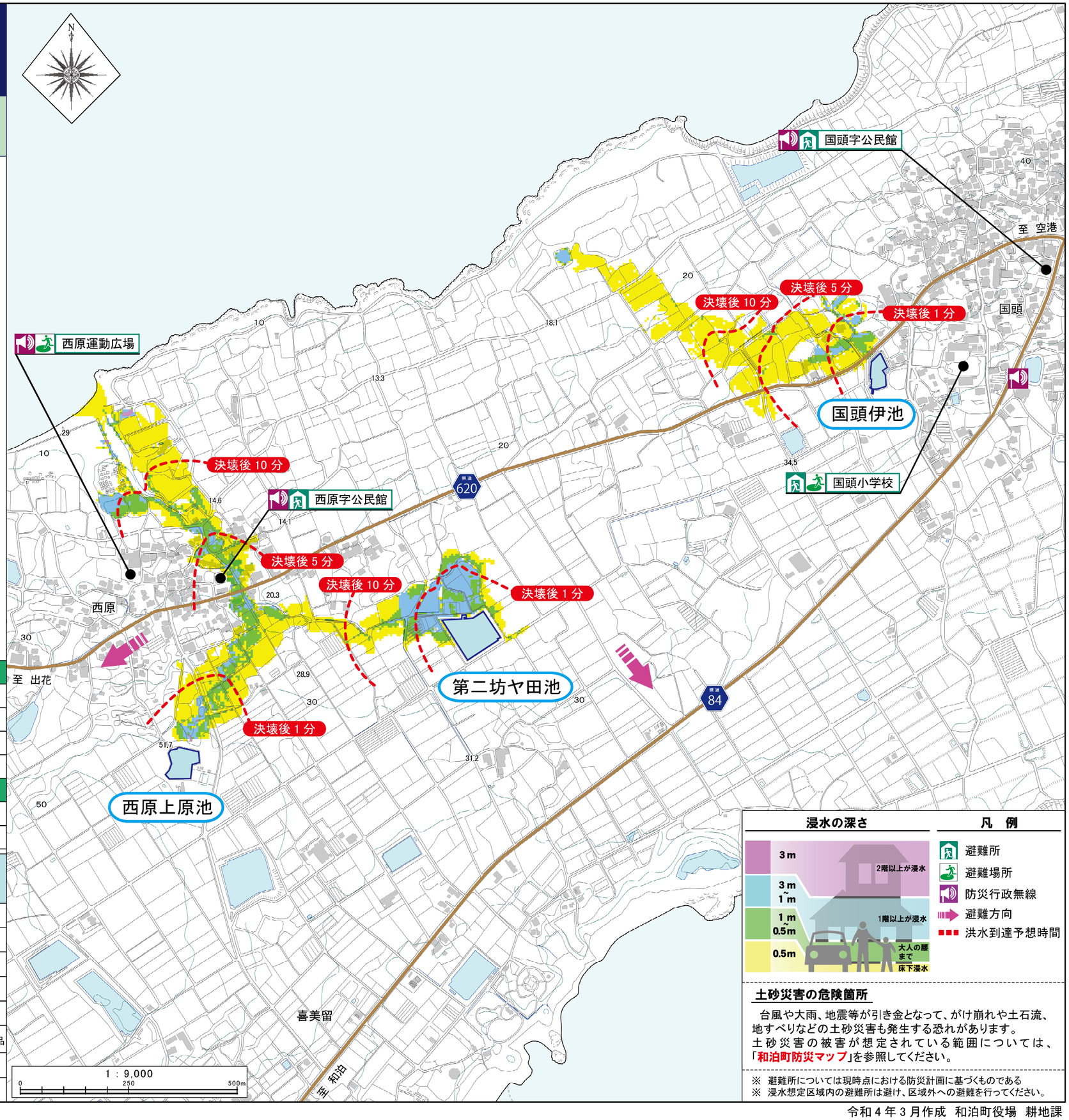
わが家の防災メモ　【家族全員で日頃から確認をしてみましょう。】

わが家の避難場所		家族の集合場所	

家族の名前	生年月日	血液型	持病・アレルギー・薬など	携帯番号/会社・学校の連絡先

非常持出チェックリスト

- □ 水
- □ 食料品
- □ 携帯ラジオ
- □ 懐中電灯
- □ 医療品
- □ 現金・貴重品
- □ 衣類
- □ ろうそく



浸水の深さ

凡　例

- 避難所
- 避難場所
- 防災行政無線
- 避難方向
- 洪水到達予想時間

土砂災害の危険箇所

台風や大雨、地震等が引き金となって、がけ崩れや土石流、地すべりなどの土砂災害も発生する恐れがあります。
土砂災害の被害が想定されている範囲については、「**和泊町防災マップ**」を参照してください。

※ 避難所については現時点における防災計画に基づくものである
※ 浸水想定区域内の避難所は避け、区域外への避難を行ってください。

この地図は、鹿児島県水土里情報データを使用しています。

令和４年３月作成　和泊町役場　耕地課

国頭伊池・西原上原池・第二坊ヤ田池ハザードマップ

【問合せ先】 和泊町役場　代　表　0997-92-1111
耕地課　0997-84-3519

ため池ハザードマップは、万が一の地震や大雨によってため池が決壊するおそれのある場合の備えとして、自分や家族の命を守るために役立つ情報を提供するもので、住民のみなさんがマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上を図るとともに災害時における被災の低減を目的としています。

■ 避難指示等が出されたら速やかに避難しよう

3m 以上の浸水
- 2 階以上が浸水
- 水流が強い場合は、木造住宅が倒壊する危険がある

0.5m ～ 3m 未満の浸水
- 1 階が浸水
- 水流が強い場合は、木造住宅が倒壊する危険がある

0.5m 未満の浸水
- 床下浸水
- 大人のヒザ程度
- 浸水の深さがヒザ上になると、歩行は危険

必ず安全な場所に避難する

必ず

避難が遅れた場合は・・

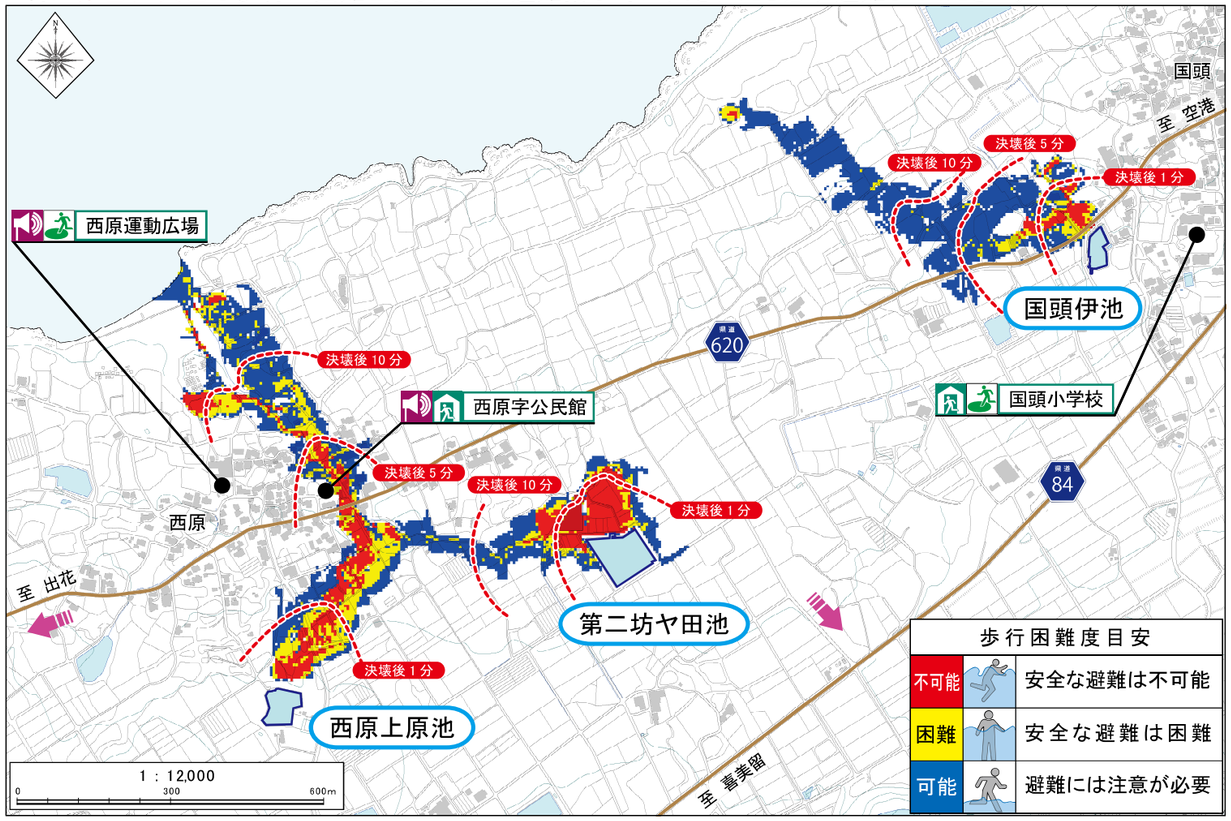
浸水しない場所
- 安全な場所へ移動する
- 水平避難

2 階以上の建物
- 自宅や近くの丈夫な建物の2階以上にとどまる
- 垂直避難

自宅にとどまる
- むやみな移動はかえって危険
- 屋内待機

■ 歩行困難度を確認しよう

●浸水の深さと流速の関係から、「歩いて避難することが困難な場所」を示しています。
特に赤色、黄色は歩行が困難となるため、避難指示等が出されたら必ず避難してください。



■ ため池決壊について知ろう



大雨

ため池の水位が上昇し堤防を越流したり、堤防が不安定な状態になり、ため池が決壊する危険性が高まります。



地震

ため池の堤防が異常な力を受け亀裂が生じることや、地盤の液状化により、決壊する危険性があります。

■ 行政からの呼びかけ（避難情報）に注意しよう

警戒レベル	避難情報等	みなさんがとるべき行動	状　況
5	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保	命の危険、直ちに安全確保	災害発生又は切迫
～～～～～～～～～～～～～～＜警戒レベル4までに必ず避難！＞～～～～～～～～～～～～～～			
4	ひなんしじ 避難指示	危険な場所から 全員避難	災害のおそれ高い
3	こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難	危険な場所から 高齢者等は避難	災害のおそれあり
2	大雨・洪水・高潮 注意報 等	自らの避難行動を確認	気象状況悪化
1	早期注意情報	災害への心構えを高める	今後気象状況悪化のおそれ

防災行政無線　サイレン・鐘　広　報　車　テレビ・ラジオ　メール・ホームページ　等

住民のみなさん

■ 避難行動の心得を確認しよう

避難する前に

ガスの元栓・電気のブレーカーをチェック



避難は徒歩で

決められた避難所へできるだけ集団で避難
非常時持ち出し品を忘れずに



協力し合って

避難するときは、近所のお年寄りや障がい者などに声かけ協力



安全なルート①

避難するときは、地すべりやがけ崩れなど土砂災害のおそれのある箇所は避ける



安全なルート②

避難するときは、高い道路を選び、水路などに十分注意



NTT災害用伝言ダイヤル

伝言の録音　171＋1＋被災地の方の電話番号 → 録音
伝言の再生　171＋2＋被災地の方の電話番号 → 再生